様式第１号(第７条関係)

市に提出する日付

　　令和○年○月○日

長久手市長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 住　　所 | 長久手市岩作城の内６０番地１ |
| フリガナ |  ナガクテ　タロウ |
| 氏　　名 | 　　　　　長久手　太郎 |
| 生年月日 | 大正昭和 | 25 | 年 | 1 | 月 | 1 | 日 |
| 電話番号 | （０５６１）６３－１１１１　　　　 |

長久手市特殊詐欺対策電話機等購入費補助金交付申請書兼実績報告書

　下記のとおり補助金の交付を申請します。なお、長久手市特殊詐欺対策電話機等購入費補助金交付要綱を遵守します。

購入した装置の名称（製品名）を記入

記

|  |  |
| --- | --- |
| 製品名 | 例1）振込め詐欺見張隊新１１７例2）電話機ＶＥ－ＧＤ67ＤＬ |
| 製造者名 | 例1）レッツコーポレーション例2）パナソニック |
| 特殊詐欺対策電話機等を設置した電話番号 | （０５６１）６３－１１１１ |
| 購入年月日 | 　　　　　令和５年１０月１日 |
| 補助対象経費（購入にかかる費用） | 金　　　　　１５，１３０円 |
| 補助金交付申請額※ | 金　　　　　　５，０００円 |

　※補助金交付申請額：特殊詐欺対策電話機等の購入にかかる費用×1/2

 （上限5,000円。100円未満の端数は切り捨て）

取付工事費等は補助対象外のため、購入費のみを記入

添付書類

（１）領収書等の写し

（２）設置費等を含む場合、内訳がわかる明細書（該当者のみ）

（３）カタログ等、特殊詐欺対策電話機等の機能が確認できるもの

（４）その他市長が必要と認める書類

誓約事項（□に✔を入れてください）

次の事項を確認し、遵守することを誓約します。

　☑　一　転売等を目的として特殊詐欺対策電話機等を設置する者でないこと

　☑　二　過去にこの要綱に基づく補助金の交付を受けた者でないこと

　☑　三　過去にこの要綱に基づく補助金の交付を受けた者が世帯の構成員でないこと

　☑　四　長久手市暴力団排除条例（平成２４年長久手市条例第２７号）に規定する暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有している者でないこと

　☑　五　同一の補助対象経費に対する他の補助金の交付を受けていないこと

☑　六　特殊詐欺対策電話機等は、購入の日から３年間は市長の承認を受けないで、本補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供しないこと

☑　七　市長の承認を受けて特殊詐欺対策電話機等を処分したことにより収入があったときは、その収入額の全部又は一部を市に納付することについて了承すること

☑　八 特殊詐欺対策電話機等の設置の際の作業者の瑕疵及び当該設置後に生じた特殊詐欺等による損害について、市はその責を負わないことについて了承すること

☑　九　本補助金の交付事務に必要な内容に関し、住民基本台帳を市が確認することについて了承すること

☑　十　本要綱第１４条に基づき、補助金の返還が決定された場合は、市に対して補助金を返還することについて了承すること

|  |
| --- |
|  　　令和○年○月○日氏名（自署）長久手　太郎　　　　　　　　　　　　　 |

内容をよく確認し、申請者本人が必ず「自筆」で記入